



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社
 コード番号 4548 URL <http://www.seikagaku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	14,256	△8.0	963	△56.6	2,475	△48.4	1,912	△46.1
2018年3月期第2四半期	15,495	2.7	2,218	183.4	4,794	248.3	3,550	250.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,682百万円 (△58.6%) 2018年3月期第2四半期 4,065百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	33.85	—
2018年3月期第2四半期	62.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	81,517	74,589	91.5
2018年3月期	84,098	73,945	87.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 74,589百万円 2018年3月期 73,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2019年3月期	—	13.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,100	△6.9	400	△71.9	2,250	△57.8	1,700	△56.7	30.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	56,814,093株	2018年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	410,037株	2018年3月期	209,947株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	56,499,080株	2018年3月期2Q	56,604,474株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2018年11月7日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の売上高は、LAL事業が国内・海外ともに伸長した一方で、医薬品事業が国内薬価引き下げの影響を受け大幅に減少したことから、前年同期と比べ8.0%減の142億5千6百万円となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が前年同期並みとなりましたが、減収に加えて、薬価引き下げに伴う原価率上昇などがあり、56.6%減の9億6千3百万円となりました。経常利益は、投資有価証券売却益が増加した一方、受取ロイヤリティーが減少したことなどにより、48.4%減の24億7千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、46.1%減の19億1千2百万円となりました。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品(69億7千4百万円、前年同期比17.5%減)

関節機能改善剤アルツは、市場全体が数量ベースでも縮小するなか、販売提携先の拡販施策により医療機関納入本数が微減に留まりました。当社売上は2018年4月からの薬価引き下げの影響が加わり、大幅に減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、シェルガンが引き続き伸長し、医療機関納入本数及び市場シェアが拡大したことから、薬価引き下げの影響をカバーして当社売上は前年同期並みとなりました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、販売提携先の拡販施策により、当社売上が増加しました。

腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアにつきましては、販売提携先の科研製薬株式会社から2018年8月1日より販売を開始しました。今後、適正使用を推進しながら、段階的な普及に努めてまいります。なお、販売初年度であることから、当社売上は少額となっています。

- ・海外医薬品(34億2千9百万円、同4.4%減)

米国では、競合激化や一部保険会社の償還厳格化等により、ヒアルロン酸注射剤の市場環境が厳しさを増しています。このようななか、単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンの現地販売及び当社売上は増加しましたが、その伸び率は徐々に緩やかになっています。5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、現地販売が償還厳格化の影響を強く受けて軟調に推移しており、当社売上は前年同期の出荷が多かった反動も加わり大幅に減少しました。

中国向けアルツは、都市部だけでなく周辺地域への拡販強化により、現地販売が増加基調にあります。当社売上は前年同期の現地在庫調整の反動もあり増加しました。

- ・医薬品原体(5億3千5百万円、同3.1%増)

ヒアルロン酸の売上は減少しましたが、コンドロイチン硫酸の海外売上が増加しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は109億3千9百万円(同12.9%減)となりました。

<LAL事業>

エンドトキシン測定用試薬等の国内・海外販売がともに好調に推移しており、売上高は33億1千7百万円(同13.0%増)となりました。海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクでは、欧州において代理店経由から直接販売へ移行するなど営業力強化に注力しており、エンドトキシン測定用試薬に加えてグルカン測定体外診断薬の販売が伸長しています。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期において、利益面が2018年5月11日に公表しました通期の連結業績予想に達していますが、主に研究開発費が第3四半期以降に集中することなどを踏まえ、同連結業績予想からの変更はありません。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,139	7,821
受取手形及び売掛金	8,704	8,226
有価証券	3,998	6,312
商品及び製品	3,295	3,496
仕掛品	2,606	2,249
原材料及び貯蔵品	1,675	1,791
その他	2,883	2,713
貸倒引当金	△11	△10
流動資産合計	30,291	32,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,833	22,857
減価償却累計額	△11,861	△12,208
建物及び構築物（純額）	10,972	10,648
機械装置及び運搬具	23,152	23,219
減価償却累計額	△16,508	△17,243
機械装置及び運搬具（純額）	6,644	5,976
土地	930	929
リース資産	162	182
減価償却累計額	△83	△103
リース資産（純額）	79	79
建設仮勘定	1,673	1,880
その他	5,703	5,691
減価償却累計額	△4,727	△4,802
その他（純額）	975	888
有形固定資産合計	21,275	20,401
無形固定資産		
その他	554	487
無形固定資産合計	554	487
投資その他の資産		
投資有価証券	28,959	24,994
退職給付に係る資産	144	169
その他	2,881	2,869
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	31,977	28,026
固定資産合計	53,806	48,914
資産合計	84,098	81,517

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,780	621
1年内返済予定の長期借入金	142	—
リース債務	36	35
未払金	4,085	2,390
未払法人税等	545	441
賞与引当金	629	630
その他	456	465
流動負債合計	7,675	4,585
固定負債		
リース債務	55	56
繰延税金負債	1,618	1,576
資産除去債務	38	39
その他	763	669
固定負債合計	2,476	2,341
負債合計	10,152	6,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	59,790	60,967
自己株式	△344	△647
株主資本合計	68,587	69,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,982	4,869
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	328	176
退職給付に係る調整累計額	46	89
その他の包括利益累計額合計	5,357	5,127
純資産合計	73,945	74,589
負債純資産合計	84,098	81,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	15,495	14,256
売上原価	6,517	6,518
売上総利益	8,978	7,738
販売費及び一般管理費		
販売手数料	859	700
人件費	989	1,069
賞与引当金繰入額	169	175
退職給付費用	70	57
研究開発費	3,205	3,287
その他	1,465	1,483
販売費及び一般管理費合計	6,759	6,774
営業利益	2,218	963
営業外収益		
受取利息	31	44
受取配当金	182	183
為替差益	88	25
投資有価証券売却益	159	735
受取ロイヤリティー	2,000	508
その他	140	29
営業外収益合計	2,602	1,527
営業外費用		
支払利息	14	11
その他	12	4
営業外費用合計	26	15
経常利益	4,794	2,475
税金等調整前四半期純利益	4,794	2,475
法人税、住民税及び事業税	1,269	546
法人税等調整額	△25	16
法人税等合計	1,243	562
四半期純利益	3,550	1,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,550	1,912

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	3,550	1,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	554	△113
繰延ヘッジ損益	—	△8
為替換算調整勘定	△137	△151
退職給付に係る調整額	97	43
その他の包括利益合計	514	△230
四半期包括利益	4,065	1,682
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,065	1,682
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2018年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式 200,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が302百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が647百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,559	2,936	15,495	—	15,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,559	2,936	15,495	—	15,495
セグメント利益	1,677	541	2,218	—	2,218

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,939	3,317	14,256	—	14,256
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,939	3,317	14,256	—	14,256
セグメント利益	339	624	963	—	963

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。